

城下町甲府のまちづくり — 整備が進む甲府城 —

日時 平成24年10月27日(土) 午後1時30分～4時30分

会場 山梨県立文学館 講堂

あいさつ 丸茂紀彦 (新世紀甲府城下町研究会 会長)

皆さんこんにちは。お忙しい中、新世紀甲府城下町研究会のシンポジウムにお集まりいただき、ありがとうございます。今日は会場に横内正明知事を迎え、我々の研究会のメンバーで顧問でもある甲府市の宮島雅展市長にもおいでいただいています。また山梨総合研究所を設立された山梨県・全市町と山梨中央銀行、山日YBSグループ、UTYより、代表して山梨中央銀行の進藤中頭取にもおいでいただきました。



山梨総合研究所は15年前に設立され、新世紀甲府城下町研究会は10年前の2002年1月に発足しました。県都である甲府市の甲府城を活かすことによって甲府市、山梨県の活性化につなげることが目的でありました。

もう少し具体的に申し上げますと、甲府城について、史跡に基づく整備の在り方について、研究会としての意見、提言を行ってきました。本日は現在の日本の城閣研究の第一人者と言われる三浦正幸先生を広島大学から講師としてお迎えしておりますが、我々の研究会にも萩原三雄先生という専門家がメンバーにありまして、甲府城に関してはリーダー役となり、史跡の面からの甲府城の見直しに取り組んできました。

2つ目は甲府の中心市街地活性化について、商業の面から、甲府商工会議所や経済団体あるいは甲府青年会議所の皆さんとの協力の中で、甲府城を生かした活性化の検討を進めてきました。もちろん観光資源としても検討を重ねました。一番の目的は、甲府城をランドマークとした開発です。本日も大勢が来場されていますが、甲府城に関する研究をされている、あるいは甲府城が好きでいろいろな情報交換をされている皆さんも、お集まりのことと思います。

こういうことを10年やって参りました。この10年間、なぜ甲府城を中心とした活性化が必要かということ提言してきましたが、その間に県あるいは甲府市の行政主

導の事業が着々と仕上がっております。稲荷櫓（いなりやぐら）にしても、あるいは歴史公園にしても、県あるいは甲府市の事業は着々と仕上がってきていますが、残念ながら中心市街地の活性化については、甲府市周辺のショッピングセンターとの関係の中で相対的に地盤沈下をしています。

現在の甲府駅周辺の整備は、民間の主導は榊タンザワさんの甲州夢小路だけであり、官主導のきらいがありますが、しかしながらこれだけのハードが一気に出来た時代というのは今までありませんでした。我々の研究会としても山梨県と甲府市にこの5年くらいに2回提言をしておりますが、ぜひこの時期に甲府城をさらに整備していただいて、甲府市の活性化に結び付けていただきたいと思いますと考えております。甲府城は皆さんもご存知のように県の所轄です。ですから、知事さんが城主であるわけです。今日は城主の知事さんにおいでいただいているので、「なんとか甲府城に天守閣を」というのが我々の願いですが、そんなお話などもお聞きいただき、ぜひ甲府市のリーダーである宮島市長さんともども、地域の活性化となる甲府城に天守閣を、よろしくお願ひしたいと思います。今日は皆さん本当にありがとうございました。

／ 来賓あいさつ 山梨県 横内正明知事

皆さま、こんにちは。今年は山梨総合研究所15周年、甲府城下町研究会10周年ということで、本当におめでとうございます。

山梨総合研究所は地域に根差した研究機関として、山梨県のさまざまな課題やテーマについて本当に精力的な研究活動を続けていただいている、いまや本県にはなくてはならないシンクタンクになっています。また甲府城下町研究会も甲府城をシンボルとした甲府の活性化を図って、地道な活動を着実にやっておられ、関係者の皆様のご努力に心から敬意を表したいと思います。

今日は2つの機関の節目の年ということで、甲府城をテーマとする大変レベルの高いシンポジウムを開いていただきました。空席を除けば満杯のお客様です。しかし拝見すると私が存じ上げておる方々が大勢おられます。山梨の知性を代表するような方々がお集まりになっていて、大変に聴衆の皆さんもレベルの高い方々がお集まりいただいたということで、心強いと思っているところです。



甲府城は、言うまでもなく県にとっても山梨の地域資源として大切なもので、これを県全体、あるいは県都甲府市の活性化の素材として活用していかなければならないという思いは常に持ち続けているところです。今、行っているプロジェクトとして、鉄門（くろがねもん）というものを復元している最中です。鉄門というのは甲府城の一番上にある、そして南に面した門ですから、これが完成をすれば中心街から綺麗に見える門で、景観の面からも大変良いだろうと思っております。来年（2013年）の国民文化祭が始まる1月12日の前日にオープンします。オープン日の夕方には、寒いのですが、門の前で薪能を行うので、興味がある方はおいでいただきたいと思っております。

また、甲府駅南口地域の再整備についてですが、駅前広場や平和通りは30年前のかいじ国体の時に今の姿になりました。そろそろ21世紀にふさわしいものに装いを改める時期ではないかということで、本日は宮島雅展市長がおいでになっていますが、県都甲府市と一緒に計画を立て、実行し始めているところです。その計画においてもやはり甲府城の活用というのは重要です。ぜひ皆様方にはいろいろなご提言やアドバイスをいただければありがたいと思っております。

今日のシンポジウムが有益なものになると同時に、皆様方のご健康、ご活躍とそして益々の発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。本日はおめでとうございます。